

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間とクローズド期間	2014年11月21日から2018年4月9日までです。 2014年12月19日まで途中換金ができないクローズド期間でした。 ※当ファンドは申込期間限定の追加型投信です。	
運用方針	シェール関連株マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)の受益証券への投資を通じて、実質的に米国、カナダおよびメキシコのシェール関連企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資します。 信託期間中に、分配金込基準価額(基準価額(1万口当たり)に設定来の分配金(1万口当たり、税引前)累計額を加算した額とします。)が、12,000円以上となった場合には、組入資産を売却し、すみやかに短期金融商品、公社債等による安定運用に切替え、繰上償還します。なお、繰上償還の条件を満たした場合、その後分配金込基準価額が当該水準を下回っても、繰上償還を行います。また、分配金込基準価額が12,000円以上となつてから満期償還日までの期間が短い場合には繰上償還を行いません。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	シェール関連株マザーファンド	米国、カナダおよびメキシコの取引所上場(上場予定を含みます。)株式(DR(預託証券)を含みます。)を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	シェール関連株マザーファンド	株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年4回、1月、4月、7月および10月の各月の9日(それぞれ休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

## 運用報告書(全体版)

### 繰上償還条項付 シェール関連株ファンド14-11 (限定追加型)

第7期(決算日 2016年7月11日)

第8期(決算日 2016年10月11日)

#### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「繰上償還条項付シェール関連株ファンド14-11(限定追加型)」は、2016年10月11日に第8期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間(第7期～第8期)の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ  
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。  
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			S&P 500指数 (円換算後)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額	
		税分	込配	み金 期騰落	騰落率	(参考指数)				騰落率
(設定日) 2014年11月21日	円 10,000			円 —	% —	ポイント 242,409.25	% —	% —	百万円 1,335	
1期(2015年1月9日)	9,072			0	△ 9.3	247,188.72	2.0	83.2	—	2,168
2期(2015年4月9日)	9,427			0	3.9	250,473.39	1.3	93.9	—	2,180
3期(2015年7月9日)	8,788			0	△ 6.8	247,218.48	△1.3	90.2	—	1,845
4期(2015年10月9日)	8,447			0	△ 3.9	241,591.47	△2.3	90.3	—	1,597
5期(2016年1月12日)	6,916			0	△18.1	226,608.33	△6.2	89.8	—	1,200
6期(2016年4月11日)	7,160			0	3.5	221,366.04	△2.3	93.9	—	1,178
7期(2016年7月11日)	6,978			0	△ 2.5	214,715.22	△3.0	91.4	—	1,098
8期(2016年10月11日)	7,334			0	5.1	224,912.46	4.7	92.4	—	1,109

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注) 設定日の基準価額は1万円当たりの当初設定元本額です。設定日の純資産総額は当初設定元本総額です。

(注) S&P 500指数(円換算後)は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

S&P 500指数(円換算後)は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、株式組入比率および株式先物比率は、実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

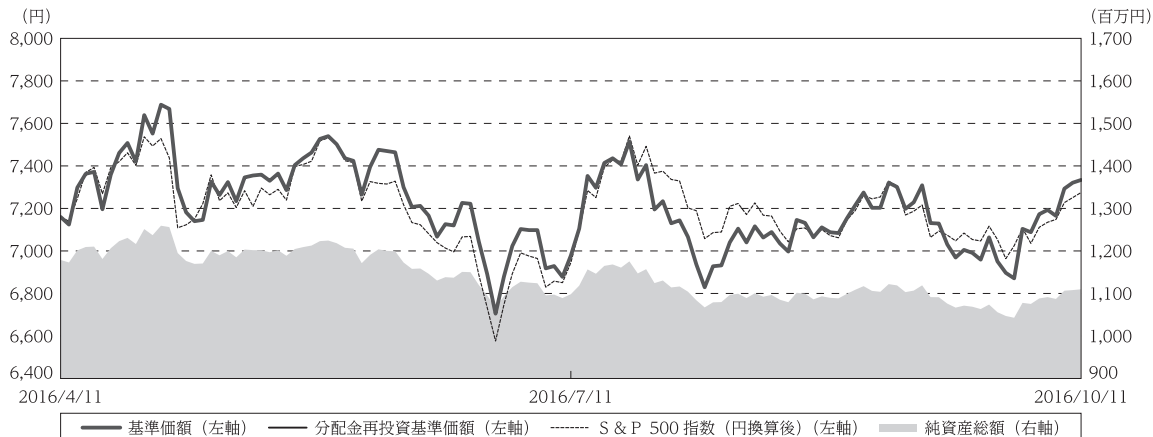
決算期	年月日	基準価額		S&P 500指数 (円換算後)		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第7期	(期首) 2016年4月11日	円 7,160	% —	ポイント 221,366.04	% —	% 93.9	% —
	4月末	7,668	7.1	229,942.71	3.9	95.0	—
	5月末	7,540	5.3	232,869.72	5.2	93.6	—
	6月末	7,023	△1.9	213,102.94	△3.7	89.8	—
	(期末) 2016年7月11日	6,978	△2.5	214,715.22	△3.0	91.4	—
第8期	(期首) 2016年7月11日	6,978	—	214,715.22	—	91.4	—
	7月末	7,144	2.4	226,597.67	5.5	92.1	—
	8月末	7,275	4.3	224,532.06	4.6	88.2	—
	9月末	7,088	1.6	217,522.27	1.3	94.1	—
	(期末) 2016年10月11日	7,334	5.1	224,912.46	4.7	92.4	—

(注) 騰落率は期首比です。

## 運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

（2016年4月12日～2016年10月11日）



第7期首：7,160円

第8期末：7,334円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：2.4%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、S & P 500指数（円換算後）です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2016年4月11日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「シェール関連株マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- 原油価格の先高観が強まる中、シェールオイルの増産により利益の改善が期待できる探査・掘削株が大幅に上昇したことがプラス要因となりました。
- 個別銘柄では、SM ENERGY COMPANYやDEVON ENERGY CORPORATION、PIONEER NATURAL RESOURCESが上昇したことがプラス要因となりました。

#### (主なマイナス要因)

- 金利が上昇に転じる中、金利負担の増大が懸念される一部の公益株の下落がマイナス要因となりました。
- 原油価格の先高観が強まる中、業績悪化が懸念される石油精製株が下落したことがマイナス要因となりました。
- 個別銘柄では、EDISON INTERNATIONALやVALERO ENERGY CORPORATION、TESORO CORPORATIONが下落したことがマイナス要因となりました。
- 為替市場において円高ドル安が進んだことがマイナス要因となりました。

## 投資環境

（2016年4月12日～2016年10月11日）

当作成期の北米株式市場は、2016年6月中旬にかけては、米国の主要経済指標が市場予想を下回ったことに加え、欧州の大手金融機関の業績悪化懸念などが悪材料となり、上値の重い展開となりました。その後6月下旬には、英国の欧州連合（EU）の離脱が決定し、先行き不透明感が高まったことから急落しました。しかし7月以降は、米国企業の2016年4～6月期決算において業績回復への期待が強まったことや英国の新首相が決まったことからEU離脱決定後の政局に対する不透明感が後退し、急速に反発する展開となりました。9月上旬以降は、米連邦準備制度理事会（FRB）当局者の発言を受けて、早期利上げ観測が高まり反落する展開となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2016年4月12日～2016年10月11日）

### <繰上償還条項付シェール関連株ファンド14-11（限定追加型）>

「シェール関連株マザーファンド」の組入比率は作成期を通じて高位を維持して運用しました。2016年6月から8月上旬にかけて、原油の供給過剰懸念などから原油価格が下落する局面では、実質株式組入比率を一時的に80%台後半に引き下げました。しかし8月中旬以降は、原油価格が急速に反発したことを受けて、株式市場は戻りを試す展開になると考え、実質株式組入比率を概ね90%台前半で推移させました。

#### ○シェール関連株マザーファンド

原油価格が底打ちから上昇基調に移ったことを受けて、石油精製株、化学関連株、公益株のウェイトを低めにする一方、探査・掘削株のウェイトを段階的に引き上げました。石油輸出国機構（OPEC）が2016年9月に減産で合意に達したことを受けて、原油価格の上昇局面が続くと判断し、10月上旬にかけて探査・掘削株のウェイトを一段と引き上げました。

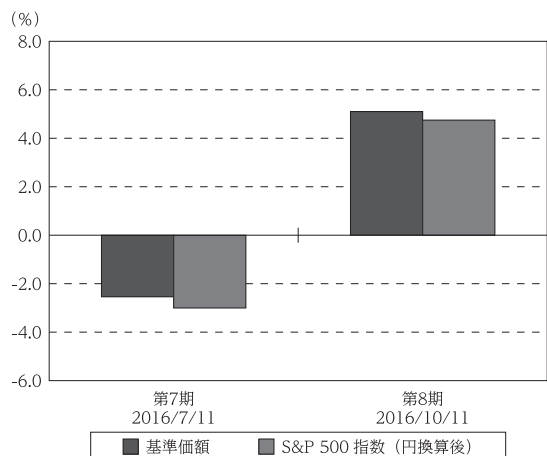
## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2016年4月12日～2016年10月11日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているS&P 500指数（円換算後）の騰落率を0.8%上回りました。

要因といたしましては、足元において原油の需給環境が好転し始めており、供給過剰状態が解消される中、北米の原油価格の指標であるウエスト・テキサス・インターミディエート（WTI）価格が上昇に転じ、売上高や利益の反転が期待された探査・掘削株の株価上昇が挙げられます。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、S&P 500指数（円換算後）です。

## 分配金

（2016年4月12日～2016年10月11日）

当ファンドは、年4回、1月、4月、7月および10月の各月の9日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

当作成期の分配につきましては、第7期、第8期共に見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第7期	第8期
	2016年4月12日～ 2016年7月11日	2016年7月12日～ 2016年10月11日
当期分配金	—	—
（対基準価額比率）	—%	—%
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	79	103

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### （投資環境）

景気拡大ペースの鈍化懸念や米大統領選挙を巡る不透明感が上値を抑える要因になる一方、低金利環境の長期化観測や企業業績の回復期待を背景に、今後の北米株式市場は高値圏で底堅い展開になると予想します。シェール関連株については、現状の原油価格の水準でも採算が十分にとれる優良なシェール油田を中心に生産が増えつつあります。シェールオイルの増産により利益の改善が期待できる企業は、株式市場において選別投資の対象として注目を集めることが予想されます。

### （運用方針）

#### <繰上償還条項付シェール関連株ファンド14-11（限定追加型）>

「シェール関連株マザーファンド」の組入れを高位に維持する方針です。

#### ○シェール関連株マザーファンド

ファンドの基本方針に基づき、米国、カナダおよびメキシコの企業の中から、シェールガス／オイルの生産拡大により成長が期待される企業、エネルギーコストの低下により恩恵を受ける企業に投資します。個別では財務状況が良好であり、効率的な生産活動を行っている石油掘削関連株の選別を強化します。なお、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

○ 1万口当たりの費用明細

(2016年4月12日～2016年10月11日)

項 目	第7期～第8期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	円 55 (22) (32) ( 2 )	% 0.758 (0.298) (0.433) (0.027)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	5 ( 5 )	0.074 (0.074)	(b) 売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 ( 0 )	0.001 (0.001)	(c) 有価証券取引税＝作成期間中の有価証券取引税÷作成期間中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	1 ( 1 ) ( 0 ) ( 0 )	0.020 (0.013) (0.006) (0.001)	(d) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	61	0.853	
作成期間中の平均基準価額は、7,289円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

（2016年4月12日～2016年10月11日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第7期～第8期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
シェール関連株マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 118,887	千円 114,000

（注）口数・金額の単位未満は切捨てです。

## ○株式売買比率

（2016年4月12日～2016年10月11日）

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	第7期～第8期	
	シェール関連株マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	1,496,396千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	2,361,264千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.63	

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

## ○利害関係人との取引状況等

（2016年4月12日～2016年10月11日）

### 利害関係人との取引状況

<繰上償還条項付シェール関連株ファンド14-11（限定追加型）>

該当事項はございません。

<シェール関連株マザーファンド>

区分	第7期～第8期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 621	百万円 15	% 2.4	百万円 874	百万円 38	% 4.3

平均保有割合 45.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合です。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	第7期～第8期
売買委託手数料総額 (A)	848千円
うち利害関係人への支払額 (B)	21千円
(B) / (A)	2.5%

(注) 売買委託手数料総額は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPANです。

○組入資産の明細

(2016年10月11日現在)

親投資信託残高

銘柄	第6期末	第8期末	
	口数	口数	評価額
シェール関連株マザーファンド	千口 1,219,766	千口 1,100,878	千円 1,081,282

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2016年10月11日現在)

項目	第8期末	
	評価額	比率
シェール関連株マザーファンド	千円 1,081,282	% 96.8
コール・ローン等、その他	35,691	3.2
投資信託財産総額	1,116,973	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) シェール関連株マザーファンドにおいて、第8期末における外貨建純資産(2,318,364千円)の投資信託財産総額(2,420,623千円)に対する比率は95.8%です。

(注) シェール関連株マザーファンドにおける外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、第8期末における邦貨換算レートは1米ドル=103.95円、1カナダドル=78.89円、1メキシコペソ=5.49円です。



○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第7期末	第8期末
	2016年7月11日現在	2016年10月11日現在
	円	円
(A) 資産	1,109,371,274	1,116,973,405
コール・ローン等	19,902,823	35,690,704
シェール関連株マザーファンド(評価額)	1,082,468,451	1,081,282,701
未収入金	7,000,000	—
(B) 負債	11,129,986	7,144,471
未払解約金	6,642,774	2,908,800
未払信託報酬	4,448,804	4,199,406
未払利息	29	25
その他未払費用	38,379	36,240
(C) 純資産総額(A-B)	1,098,241,288	1,109,828,934
元本	1,573,896,553	1,513,275,674
次期繰越損益金	△ 475,655,265	△ 403,446,740
(D) 受益権総口数	1,573,896,553口	1,513,275,674口
1万口当たり基準価額(C/D)	6.978円	7.334円

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は、第7期0.6978円、第8期0.7334円です。

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第7期475,655,265円、第8期403,446,740円です。

(注) 当ファンドの第7期首元本額は1,646,286,488円、第7～8期中追加設定元本額は0円、第7～8期中一部解約元本額は133,010,814円です。

## ○損益の状況

項 目	第7期	第8期
	2016年4月12日～ 2016年7月11日	2016年7月12日～ 2016年10月11日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 2,239	△ 2,084
受取利息	2	21
支払利息	△ 2,241	△ 2,105
(B) 有価証券売買損益	△ 24,300,182	58,067,060
売買益	1,521,176	58,980,089
売買損	△ 25,821,358	△ 913,029
(C) 信託報酬等	△ 4,487,351	△ 4,235,873
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 28,789,772	53,829,103
(E) 前期繰越損益金	△400,007,872	△412,223,004
(F) 追加信託差損益金	△ 46,857,621	△ 45,052,839
(配当等相当額)	( 769,412)	( 739,775)
(売買損益相当額)	(△ 47,627,033)	(△ 45,792,614)
(G) 計(D+E+F)	△475,655,265	△403,446,740
(H) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金(G+H)	△475,655,265	△403,446,740
追加信託差損益金	△ 46,857,621	△ 45,052,839
(配当等相当額)	( 769,412)	( 739,775)
(売買損益相当額)	(△ 47,627,033)	(△ 45,792,614)
分配準備積立金	11,679,422	14,849,667
繰越損益金	△440,477,066	△373,243,568

(注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額、監査費用を含めて表示しています。(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第7期	第8期
(a) 配当等収益(費用控除後)	173,471円	3,561,191円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	769,412円	739,775円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	11,505,951円	11,288,476円
分配対象収益(a+b+c+d)	12,448,834円	15,589,442円
分配対象収益(1万口当たり)	79円	103円
分配金額	0円	0円
分配金額(1万口当たり)	0円	0円

### 〈お知らせ〉

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2016年10月11日現在）

<シェール関連株マザーファンド>

下記は、シェール関連株マザーファンド全体(2,434,657千口)の内容です。

外国株式

銘柄	第6期末		第8期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ANADARKO PETROLEUM CORP	—	50	321	33,466	エネルギー
ASHLAND GLOBAL HOLDINGS INC	61	61	709	73,789	素材
DOW CHEMICAL CO/THE	159	125	669	69,568	素材
EASTMAN CHEMICAL CO	—	15	99	10,319	素材
EOG RESOURCES INC	35	70	681	70,793	エネルギー
GENERAL ELECTRIC CO	300	180	519	53,999	資本財
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	113	50	534	55,509	資本財
PHILLIPS 66	97	30	243	25,353	エネルギー
SCHLUMBERGER LTD	95	65	535	55,628	エネルギー
DEVON ENERGY CORP	—	200	887	92,286	エネルギー
SEMPRA ENERGY	104	34	354	36,866	公益事業
CABOT OIL & GAS CORP	—	200	483	50,228	エネルギー
CALLON PETROLEUM CO	250	160	255	26,544	エネルギー
CURTISS-WRIGHT CORP	90	60	530	55,110	資本財
UNION PACIFIC CORP	80	80	778	80,956	運輸
EQT CORP	75	75	547	56,873	エネルギー
NEXTERA ENERGY INC	40	30	368	38,288	公益事業
LACLEDE GROUP INC/THE	75	—	—	—	公益事業
RANGE RESOURCES CORP	—	90	353	36,710	エネルギー
POLYONE CORPORATION	92	92	302	31,454	素材
NEWFIELD EXPLORATION CO	90	60	262	27,243	エネルギー
CABOT CORP	50	50	259	26,928	素材
CHEVRON CORP	65	65	675	70,256	エネルギー
PIONEER NATURAL RESOURCES CO	40	60	1,159	120,523	エネルギー
PPG INDUSTRIES INC	82	82	769	79,996	素材
RYDER SYSTEM INC	35	35	235	24,529	運輸
SM ENERGY CO	—	100	412	42,900	エネルギー
SUPERIOR ENERGY SERVICES INC	200	200	371	38,586	エネルギー
EDISON INTERNATIONAL	80	47	330	34,326	公益事業
TETRA TECHNOLOGIES INC	450	—	—	—	エネルギー
MARATHON PETROLEUM CORP	69	69	293	30,461	エネルギー
VULCAN MATERIALS CO	55	55	589	61,306	素材
OCCIDENTAL PETROLEUM CORP	—	70	523	54,406	エネルギー
TESORO CORP	25	25	200	20,870	エネルギー
VALERO ENERGY CORP	135	—	—	—	エネルギー
CONCHO RESOURCES INC	—	40	567	58,985	エネルギー
AMERICAN WATER WORKS CO INC	106	57	406	42,293	公益事業
KINDER MORGAN INC	260	260	556	57,891	エネルギー
LYONDELLBASELL INDU-CL A	55	55	452	47,030	素材
PARSLEY ENERGY INC-CLASS A	—	80	289	30,128	エネルギー
ADVANSIX INC	—	2	4	454	素材
CHENIERE ENERGY INC	100	180	758	78,848	エネルギー
SYNERGY RESOURCES CORP	325	—	—	—	エネルギー

繰上償還条項付シェール関連株ファンド14-11（限定追加型）

銘柄	株数	株数	第8期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
CARRIZO OIL & GAS INC	—	90	385	40,097	エネルギー	
GULFPORT ENERGY CORP	83	123	371	38,587	エネルギー	
DIAMONDBACK ENERGY INC	155	60	631	65,619	エネルギー	
PDC ENERGY INC	215	16	104	10,844	エネルギー	
小計	株数・金額	4,341	3,548	19,787	2,056,865	
	銘柄数<比率>	36	43	—	<86.0%>	
(カナダ)			千カナダドル			
CANADIAN NATURAL RESOURCES	115	115	487	38,457	エネルギー	
ENBRIDGE INC	80	80	456	36,036	エネルギー	
CANADIAN PACIFIC RAILWAY LTD	20	20	403	31,869	運輸	
SUNCOR ENERGY INC	212	212	781	61,680	エネルギー	
PEMBINA PIPELINE CORP	100	100	399	31,548	エネルギー	
小計	株数・金額	527	527	2,530	199,593	
	銘柄数<比率>	5	5	—	<8.3%>	
(メキシコ)			千メキシコペソ			
MEXICHEM SAB DE CV-*	428	428	1,937	10,637	素材	
小計	株数・金額	428	428	1,937	10,637	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.4%>	
合計	株数・金額	5,296	4,503	—	2,267,096	
	銘柄数<比率>	42	49	—	<94.8%>	

(注) 邦貨換算金額は、第8期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、第8期末のマザーファンドの純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注) 株数・金額の単位未満は切捨てです。

(注) 銘柄及び銘柄数は、新株等がある場合、別銘柄として記載しております。

(注) 一印は組み入れがありません。

## シェール関連株マザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

### シェール関連株マザーファンド 第3期 運用状況のご報告 決算日：2016年4月11日

「シェール関連株マザーファンド」は、2016年4月11日に第3期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	米国、カナダおよびメキシコのシェール関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資し、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主要投資対象	米国、カナダおよびメキシコの取引所上場（上場予定を含みます。）株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

### ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		S&P 500指数（円換算後）		株組入比率	株先物比率	純資産総額
	期騰落	期中率	（参考指数）	期騰落			
（設定日） 2013年4月25日	円	%	ポイント		%	%	百万円
	10,000	—	157,184.33		—	—	5,900
1期(2014年4月9日)	11,764	17.6	188,844.36		96.7	—	12,528
2期(2015年4月9日)	12,457	5.9	250,473.39		94.5	—	5,303
3期(2016年4月11日)	9,513	△23.6	221,366.04		95.4	—	2,574

（注）基準価額は1万円当たりです。

（注）設定日の基準価額は1万円当たりの当初設定元本額です。設定日の純資産総額は当初設定元本総額です。

（注）S&P 500指数（円換算後）は参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

S&P 500指数（円換算後）は、当該日前営業日の現地終値に為替レート（対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値）を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。

（注）株式先物比率は買建比率－売建比率です。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

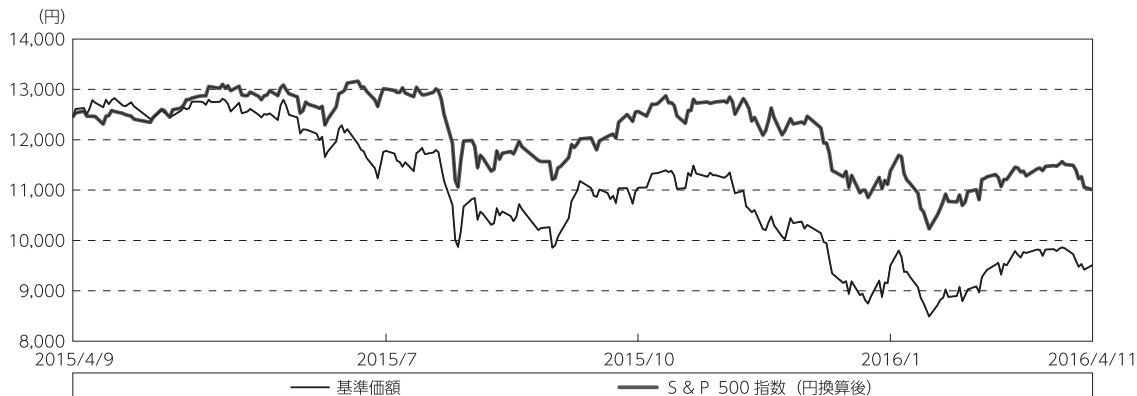
年 月 日	基 準 価 額		S&P 500指数 (円換算後)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2015年 4月 9日	円 12,457	% —	ポイント 250,473.39	% —	% 94.5	% —
4月末	12,745	2.3	250,715.15	0.1	96.0	—
5月末	12,749	2.3	262,405.35	4.8	95.8	—
6月末	12,126	△ 2.7	251,958.02	0.6	95.2	—
7月末	11,781	△ 5.4	261,554.47	4.4	95.7	—
8月末	10,823	△13.1	241,011.27	△ 3.8	93.4	—
9月末	9,901	△20.5	226,015.44	△ 9.8	89.1	—
10月末	11,047	△11.3	252,609.67	0.9	92.4	—
11月末	11,246	△ 9.7	256,707.31	2.5	94.3	—
12月末	10,307	△17.3	250,671.00	0.1	93.3	—
2016年 1月末	9,501	△23.7	228,850.42	△ 8.6	92.2	—
2月末	9,088	△27.0	221,337.44	△11.6	92.4	—
3月末	9,862	△20.8	232,565.89	△ 7.1	96.0	—
(期 末) 2016年 4月11日	9,513	△23.6	221,366.04	△11.6	95.4	—

(注) 騰落率は期首比です。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2015年4月10日～2016年4月11日)



(注) 参考指数は、S & P 500指数 (円換算後) です。

(注) 参考指数は、期首 (2015年4月9日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・金利が低位で推移したことから、配当利回りが相対的に高い公益セクターが上昇したことがプラス要因となりました。
- ・個別銘柄では、AMERICAN WATER WORKS CO INCやLACLEDE GROUP INCなどの株価が上昇したことがプラス要因となりました。

#### (主なマイナス要因)

- ・原油価格が下落したことから、業績悪化が懸念される原油掘削・生産関連株が下落したことがマイナス要因となりました。
- ・為替市場において、米ドルが対円で下落したことが基準価額のマイナス要因となりました。

### 投資環境

(2015年4月10日～2016年4月11日)

当期の北米株式市場は、米国企業の良い業績などから期初より底堅く推移しました。その後も米国の低金利政策の長期化観測などが株価の下支え要因となりました。2015年8月に入り、中国の景気悪化懸念や人民元の実質的な切り下げなどから、投資家のリスク回避姿勢が強まり、急落しました。10月には米国の利上げ観測が後退したことや、米国企業の良い業績を受けて上昇に転じました。12月には米国で利上げが決定されたものの、今後の追加利上げペースは緩やかになるとの見通しが高まり株価を下支えしました。しかし、2016年1月には、中国の金融市場の混乱や米国景気の鈍化懸念に加え、原油価格の低迷などから下落しましたが、3月に入ると原油価格が反発基調となったことが好感され、北米株式市場は再び上昇に転じました。



## 当ファンドのポートフォリオ

(2015年4月10日～2016年4月11日)

当ファンドは、米国、カナダおよびメキシコのシェール関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資します。投資にあたっては、米国、カナダおよびメキシコの企業の中から、シェールガス／オイルの生産拡大により成長が期待される企業、エネルギーコストの低下により恩恵を受ける企業に注目し、投資信託財産の成長を図ることを目的とします。

当期においては、期初から2015年8月にかけて原油価格が下落したことから、石油精製株や化学関連株、公益株などを中心としたポートフォリオを維持しました。その後、原油価格が持ち直す動きが見られたことから、一時的にエネルギー関連銘柄のウェイトを引き上げましたが、2016年1月以降は、原油価格が下落基調を強めたことから、エネルギー関連銘柄のウェイトを引き下げました。3月にかけては原油価格が底入れの動きとなったことから、株価バリュエーションが割安と判断したパイプライン関連株などを組み入れました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年4月10日～2016年4月11日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているS & P 500指数（円換算後）の騰落率を12.0%下回りました。

## 今後の運用方針

原油価格に一定の底打ち感が見られることに加え、今後の米国の利上げペースが緩やかにとどまることが予想されることから、今後の北米株式市場は堅調な展開になると考えます。シェール関連株についても良好な個人消費を背景にガソリン需要が底堅いと考えられることや、多くの企業がコスト削減などを積極的に行っていることなどが株価の下支え要因になると思われます。

今後の運用方針につきましては、ファンドの基本方針に基づき、米国、カナダおよびメキシコの企業の中から、シェールガス／オイルの生産拡大により成長が期待される企業、エネルギーコストの低下により恩恵を受ける企業に投資します。個別では財務状況が良好であり、効率的な生産活動を行っている石油掘削関連株の選別を強化します。なお、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

○1万口当たりの費用明細

(2015年4月10日～2016年4月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 19 (19)	% 0.173 (0.173)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 ( 0 )	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	3 ( 3 ) ( 0 )	0.028 (0.028) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用
合 計	22	0.202	
期中の平均基準価額は、10,931円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年4月10日～2016年4月11日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 3,745 ( 156)	千米ドル 12,235 ( - )	百株 5,665	千米ドル 22,847
	カナダ	200	千カナダドル 251	1,505	千カナダドル 2,953

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) ( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2015年4月10日～2016年4月11日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	4,520,767千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,528,313千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.28

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2015年4月10日～2016年4月11日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
株式	百万円 1,494	百万円 76	5.1	百万円 3,026	百万円 405	13.4

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	6,418千円
うち利害関係人への支払額 (B)	879千円
(B) / (A)	13.7%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPANです。

## ○組入資産の明細

(2016年4月11日現在)

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ANADARKO PETROLEUM CORP	194	—	—	—	エネルギー
ASHLAND INC	—	61	665	71,948	素材
DOW CHEMICAL CO/THE	259	159	807	87,271	素材
ENERGEN CORP	125	—	—	—	エネルギー
EOG RESOURCES INC	131	35	257	27,799	エネルギー
GENERAL ELECTRIC CO	—	300	923	99,861	資本財
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	113	113	1,266	136,970	資本財
KIRBY CORP	50	—	—	—	運輸
PHILLIPS 66	177	97	834	90,248	エネルギー
SCHLUMBERGER LTD	115	95	701	75,847	エネルギー
ONEOK INC	98	—	—	—	エネルギー
UNITED RENTALS INC	84	—	—	—	資本財
SEMPRA ENERGY	134	104	1,084	117,201	公益事業
QUANTA SERVICES INC	477	—	—	—	資本財
CALLON PETROLEUM CO	—	250	229	24,784	エネルギー
NRG ENERGY INC	456	—	—	—	公益事業
CURTISS-WRIGHT CORP	—	90	677	73,217	資本財
UNION PACIFIC CORP	—	80	633	68,472	運輸
EQT CORP	—	75	503	54,471	エネルギー
NEXTERA ENERGY INC	—	40	467	50,513	公益事業
GENESEE & WYOMING INC-CL A	90	—	—	—	運輸
LACLEDE GROUP INC/THE	—	75	498	53,919	公益事業
POLYONE CORPORATION	320	92	277	29,997	素材
NEWFIELD EXPLORATION CO	—	90	306	33,130	エネルギー
OGE ENERGY CORP	365	—	—	—	公益事業
CABOT CORP	—	50	236	25,557	素材
CHEVRON CORP	—	65	626	67,692	エネルギー
PIONEER NATURAL RESOURCES CO	—	40	579	62,604	エネルギー
PPG INDUSTRIES INC	56	82	917	99,137	素材
CONOCOPHILLIPS	78	—	—	—	エネルギー
RYDER SYSTEM INC	50	35	216	23,440	運輸
SUPERIOR ENERGY SERVICES INC	—	200	267	28,930	エネルギー
EDISON INTERNATIONAL	150	80	565	61,138	公益事業
TETRA TECHNOLOGIES INC	—	450	294	31,865	エネルギー
MARATHON PETROLEUM CORP	100	69	267	28,868	エネルギー
TRINITY INDUSTRIES INC	434	—	—	—	資本財
VULCAN MATERIALS CO	—	55	594	64,217	素材
PRECISION CASTPARTS CORP	27	—	—	—	資本財
TESORO CORP	55	25	207	22,478	エネルギー
VALERO ENERGY CORP	—	135	851	92,035	エネルギー
WILLIAMS COS INC	356	—	—	—	エネルギー
AMERICAN WATER WORKS CO INC	163	106	746	80,653	公益事業
KINDER MORGAN INC	301	260	466	50,426	エネルギー
LYONDELLBASELL INDU-CL A	120	55	461	49,869	素材
SEMGROUP CORP-CLASS A	170	—	—	—	エネルギー
TARGA RESOURCES CORP	110	—	—	—	エネルギー

シェール関連株マザーファンド

銘柄	株数	株数	期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
CHENIERE ENERGY INC	192	100	348	37,697	エネルギー	
SYNERGY RESOURCES CORP	—	325	273	29,549	エネルギー	
CARRIZO OIL & GAS INC	250	—	—	—	エネルギー	
GULFPORT ENERGY CORP	—	83	236	25,618	エネルギー	
DIAMONDBACK ENERGY INC	170	155	1,256	135,815	エネルギー	
PDC ENERGY INC	135	215	1,319	142,599	エネルギー	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	6,105 34	4,341 36	20,866 —	2,255,851 <87.6%>	
(カナダ)			千カナダドル			
CANADIAN NATURAL RESOURCES	400	115	413	34,387	エネルギー	
ENBRIDGE INC	220	80	405	33,704	エネルギー	
CANADIAN PACIFIC RAILWAY LTD	20	20	350	29,147	運輸	
SUNCOR ENERGY INC	312	212	759	63,127	エネルギー	
WHITECAP RESOURCES INC	680	—	—	—	エネルギー	
PEMBINA PIPELINE CORP	200	100	348	28,995	エネルギー	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,832 6	527 5	2,277 —	189,361 <7.4%>	
(メキシコ)			千メキシコペソ			
MEXICHEM SAB DE CV-*	428	428	1,774	10,788	素材	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	428 1	428 1	1,774 —	10,788 <0.4%>	
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	8,365 41	5,296 42	— —	2,456,002 <95.4%>	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注) 株数・金額の単位未満は切捨てです。

(注) 銘柄及び銘柄数は、新株等がある場合、別銘柄として記載しております。

(注) 一印は組み入れがありません。

○投資信託財産の構成

(2016年4月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 2,456,002	% 94.8
コール・ローン等、その他	133,783	5.2
投資信託財産総額	2,589,785	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 当期末における外貨建純資産(2,572,836千円)の投資信託財産総額(2,589,785千円)に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=108.11円、1カナダドル=83.13円、1メキシコペソ=6.08円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年4月11日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	2,606,000,198	
コール・ローン等	99,712,900	
株式(評価額)	2,456,002,322	
未収入金	46,964,198	
未収配当金	3,320,778	
(B) 負債	31,215,000	
未払金	16,215,000	
未払解約金	15,000,000	
(C) 純資産総額(A-B)	2,574,785,198	
元本	2,706,628,851	
次期繰越損益金	△ 131,843,653	
(D) 受益権総口数	2,706,628,851口	
1万口当たり基準価額(C/D)	9,513円	

- (注) 計算期間末における1口当たり純資産額は0.9513円です。  
(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は131,843,653円です。  
(注) 当ファンドの期首元本額は4,257,313,772円、期中追加設定元本額は31,715,827円、期中一部解約元本額は1,582,400,748円です。  
(注) 当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、シェール関連株オープン1,486,862,626円、繰上償還条項付シェール関連株ファンド14-11(限定追加型)1,219,766,225円です。

○損益の状況 (2015年4月10日～2016年4月11日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	61,074,820	
受取配当金	61,072,763	
受取利息	2,057	
(B) 有価証券売買損益	△1,033,515,803	
売買益	213,332,518	
売買損	△1,246,848,321	
(C) 保管費用等	△ 937,010	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 973,377,993	
(E) 前期繰越損益金	1,045,849,419	
(F) 追加信託差損益金	8,284,173	
(G) 解約差損益金	△ 212,599,252	
(H) 計(D+E+F+G)	△ 131,843,653	
次期繰越損益金(H)	△ 131,843,653	

- (注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

金融商品取引業等に関する内閣府令等の改正に伴い信用リスクを適正に管理するために、投資信託約款に所要の整備を行うべく、約款の変更を行いました。(実施日：2016年1月6日)